

【ミシマサイコ】②徳島県美馬郡脇町

発芽率は約40パーセント位と聞いたが、もっと悪い。追い播きをしたが欠株が目立つ。
播種日は3月日 薬草協会上田氏の圃場



11月下旬になってもまだ花が咲いている。



それでもやっと色着き、ちょっと早い気味だが
11月23日に種子を採取するために刈り取る



株本は次に根を掘ってから機械洗浄するので
持つ部分として10cm程を残す。



これくらい赤くなると収穫適期という



刈れる



株本から切り取ってから、乾燥させて、たたい
て脱穀して、実だけを収穫して出荷する。

根の収穫は年明けとなる。

種子と根の両方を出荷する。



【ミシマサイコ】③徳島県阿南羽ノ浦町竹治氏

台風までは順調に生育が進む



冠水してダメージあったが、種子の収穫を行う



刈り取って脱穀する



昭和 55 年の脱穀機を修理して使う
有効に働く



脱穀の残渣は堆肥にする



収穫した種子。清濁はこの後、箕で行う。



竹治氏の印象では、サイコには2系統あり、抽
苔しない株がある。このような株のものはもう
少し圃場においておくと根部が太り、収量が上
がるという。



【トウキを種から育てる】プランターにてセルトレイに播種して、芽を切る。



本葉が展開して



プランターに移植する。根径を7～8 mm以下で抑えるために、密に植えた。



かなり成長して、セリ科の葉が展開してくるすでに香りがする。



プランターでの生育が進む



徐々に生育していくが、1年目は根径が10 mm以上にならないように肥料を抑えた。少量のマグアンプを与えた。



冬になって、年明けになるとこんな風にかれているが、すでに新芽が出ている。



春に本圃に移植を予定する。

【トウキ】②増殖試験栽培 阿南市

2年目の株を塔立ちさせて種子を生産する。雑草対策に防草シートを敷いた。生育の影響も観る。



1年目に咲いた花



26年春に定植した。所々に緑が見えるが、これは1年目に塔立ちしたものである。たくさん抜いて破棄したが残っている。



抽苔した株は元気よく立っているものがある



よく観てみると、花が咲いて、一見すると結実しているようだが実にはなっていない。



27年に花を咲かせて、実の収穫が期待できる株を観ると、すでに新芽が出ていた。



新芽



◆このように、2年をかけて国内において種子生産を行うには経済的ではないが、あえて試験を行った。

また、雑草対策として防草シートを使えば除草の手間がかからなかった。省力化には大いに有用であるが、種子生産や根の収穫についての影響はまだ結論を得ていない。

【ゲンノショウコ】試験栽培をして採種する
苗は県の薬務課のお世話になり入手した



圃場に移植する



県の薬用植物園から入手した、赤花



左は白花2株と右は赤花1株、



白花の株



白花の大きくなる



白花も花が咲いて莢ができる



赤花も花が咲いて莢ができる



赤花の草勢が強い



別名のコシグサの由来となったミコシと
付け根にできた実。



莢



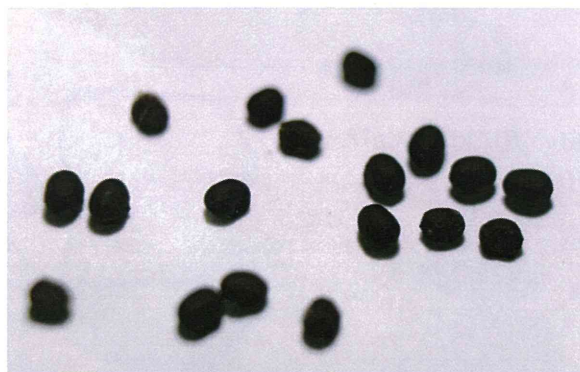
莢の中には種子はない



種子は下の部分にある。莢は種子をはじき出すためのバネの役目のように思われる。



実

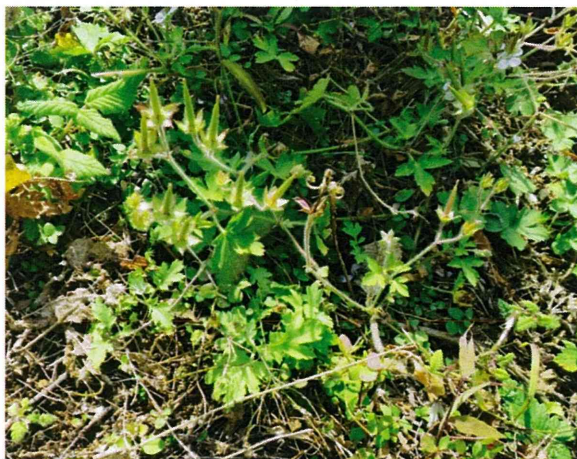


拡大した



◆美馬市木屋平、中尾山に自生するゲンノショウコ

木屋平のゲンノショウコ



中尾山のセンブリ



中尾山のオトギリソウ



探せばあった

【ハトムギ】試験栽培して採種する

ポットに播種して育苗する



露地に定植して



台風に備えて支柱を立てる



花が咲いて



実が着き始める



手で収穫した



茶色い実には中身があるが



白い実には中身がない



割って種子を取り出すと、麦のようであった



【ハマボウフウ】自生地で観察を行い採種する
 今後に備えて一部保護する。
 徳島県鳴門市鳴門町大毛島海岸・砂浜に自生する。
 ハマボウフウの種子を採取する。
 ここに自生するハマボウフウは、カワラヨモギと共生している。



拡大



夏に種子を落とす
 波が来たら、海岸を離れて再度別海岸に流着く



保護して鉢取りしたものに花が咲いた



種子を観る

種子の外観



表



裏は平らに



種子を割って子実を観る。浮きの役目を果たす
 外側は浮子の役目を果たすために柔らかくすポンジ状である。簡単に割れた。



約6～7mmの種子が入っていた



【エビスグサ】試験栽培して採種する。
・栽培は容易であった。台風にも強かった。

ポット育苗を行い、定植した



大きくなって



莢ができてきたが、下に向いているのでエビスグサであると判明した。



莢が充実して



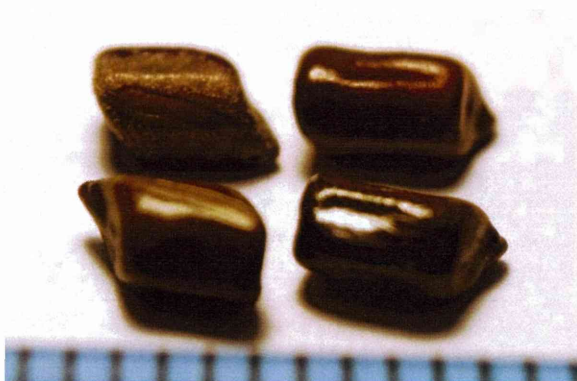
収穫して



中の種子はつやがありギッシリ詰まっていた



種子を拡大



【センブリ】県内の自生地から株を採取して観察する。

※農家が言うには、センブリは難しい。栽培は無理であるという理由かも。

徳島県名東郡佐那河内村 大川原高原にて



花穂を集める



センブリ株を入手して



サヤ



鉢上げを行い、結実させる



種子はごく小さく、0,3～0,5 mm
実体顕微鏡で観ると丸くて小さく、ピンセットでつまみ難い。集めて播種を行うにはどうしようかと悩む。

鉢で結実させた

